



人工関節のための りんくうシーサイドウォーキングを開催

～ノルディックポールと歩行アシストロボットの融合～

12月13日(日)、前日の天気予報が発表した降水確率40%を見事に裏切り、ほぼ晴天無風のウォーキング日和となりました。これも主催者を含め参加者皆様の日頃の行いの良さが故とプラス思考で考えています。

今回、当院で人工関節手術をうけた483人の方に開催お知らせの案内書を送付させていただきました。師走の時期にも関わらず、94名の方に参加申し込みを頂きましたが、初めての開催での混乱をさけるため、参加者を先着

29名とご友人、ご家族のみとさせていただき、総勢50名となりました。最終的に当日は、スタッフも合わせ67名でした。今回、ご応募頂いたのに、お断りした皆様、大変申し訳ありませんでした。次回、よろしくお願い申し上げます。



▲スタート地点 病院玄関前

なぜ今回、こういった会を開催したかといいますと…

毎日、診察をしていて感じるがあります。人工関節の手術をすることにより、痛みが軽減し、関節の動きがよくなること多いですが、実際どの程度の日常生活を営んでおられるかは不明です。我々の業界(医療関係)では、そういった普段のアクティビティ評価のために、患者様に直接アンケートを書いていただく方法があります(この、自己評価型の機能評価については、過去の人工関節ニュースでも書いたので、気になる方はバックナンバーを参考にしてください。)が、アンケート式にも限界があります。そこで、アンケート以上に自分の目で確認し、コミュニケーションをとりたいという思いから、病院スタッフと患者様とのウォーキング会を開催するに至りました。ウォーキング会といっても競争するのではなく、『会話をしながら楽しく歩く』ということを目的としました。ノルディックポールや歩行アシストロボットを使うことにより、いつもよりたくさん歩くことも可能となりました。実際、今回の4kmではあまりにも物足りないという意見を多数頂いたのは驚きであり、次回開催時はもう少し長距離を歩きたい方にも納得していただけるように設定する必要があると考えています。

最後になりましたが、多くのボランティアのメディカルスタッフ、川村義肢、キザキ、本田技研工業、バイオメット、ノルディック協会の方、そして患者さんとそのご家族に参加して頂き、無事、安全に会が終了できたことに感謝いたします。今後もこのような会を定期的で開催し、みなさまと一緒に歩けることを楽しみにしています。



▲関西国際空港とその橋を背景に撮影

人工関節手術後もみなさまのご意見をお聞きし、よりよい治療を提供できるよう努力していきます。